



山武農業事務所 改良普及課
TEL:0475-54-0226
FAX:0475-52-7914

山武地域の生育状況

日中の平均気温が高く推移したことから、初期生育が遅れていたほ場においても草丈は平年並みに推移しています。茎数は初期の深水による影響が長引き、平年よりやや少なく推移しています。海沿いの地域を中心にジャンボタニシの発生が相次いでいることから、被害が拡大しています。

また、6月上旬の豪雨により、ほ場内の水位がかなり高くなっています。すみやかに排水し、通常の浅水管理を行い、分けつを促進しましょう。

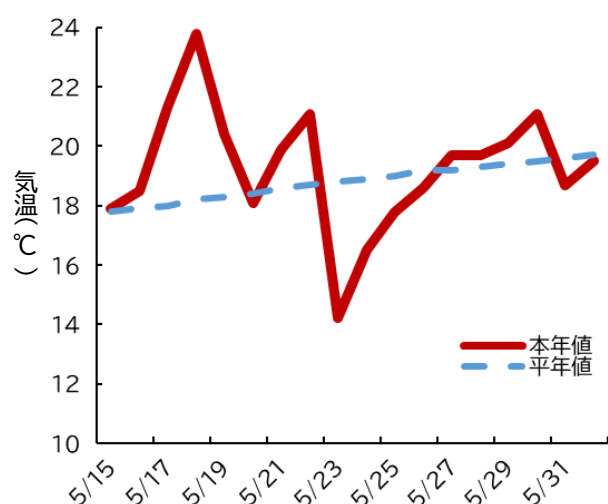


図1 日平均気温の推移(アメダス、横芝光)

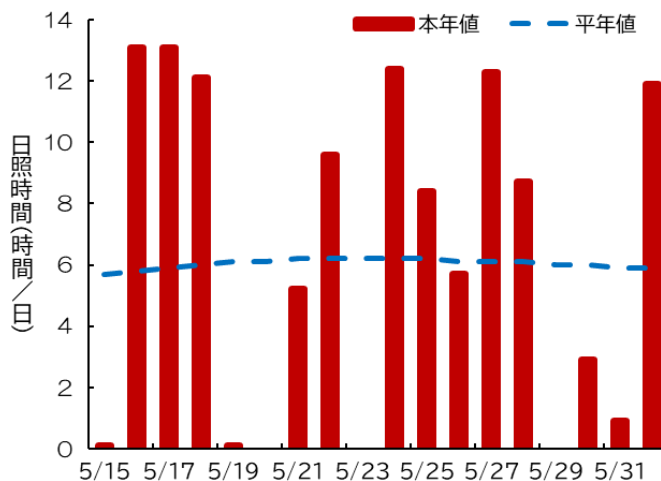


図2 日照時間の推移(アメダス、横芝光)

中干し管理について

中干しをすることで、還元障害の被害を軽減し、根の生育を健全に保つことができます。また、根が伸長することで、倒伏対策にもなるため、梅雨前の晴れ間を利用して、中干しを行いましょう。中干しの強さは、田面に亀裂が入る程度です。

中干しを行う適期は茎数で判断します。平均的な株を数え、目標茎数(水稻と生育状況と当面の対策第2報を参照)に達していたら開始のサインとなります。

幼穂形成期予測(6月5日現在)*

| 移植日 | 品種 | | | |
|------|-------|-------|-------|------|
| | コシヒカリ | ふさこがね | ふさおとめ | 粒すけ |
| 4/20 | 6/24 | 6/16 | 6/15 | 6/23 |
| 5/1 | 6/30 | 6/22 | 6/21 | 6/30 |
| 5/15 | 7/7 | 6/30 | 6/28 | 7/8 |

*幼穂形成期とは幼穂が1~2mmになる時期のことを指しています。

*予測日は水稻生育予測システム「でるた™」(運用試験版)を用いて予測しています(アメダス横芝光)。移植時の苗の葉齢、活着状況、ほ場の気象条件、予測日以降の気象条件により誤差がある場合があります。

これからの管理のポイント

○難防除雑草の防除について

中干しの時期が近づいてきました。現在普及している初中期一発除草剤は除草効果が高いため、条件次第では処理が1回で済みますが、難防除雑草が多く発生しているほ場では中干し時期に薬剤散布をすることで効果的に防除が行えます。表1、表2を参考に初期剤や中後期剤と組み合わせた体系処理により上手に雑草防除を行いましょう。

○両総用水の止水期間について

今年度の両総用水の止水期間は6月16日から6月30日までの予定です。

表1 難防除雑草の防除体系

○初期剤 ●初中期剤 ▲中後期剤 ■中後期剤(茎葉処理)

| | | 田植同時 | 移植時 | 移植30日後 | 中干し |
|------------|-----|------|-----|--------|-----|
| オモダカ | 体系1 | | ●*1 | | ■ |
| | 体系2 | ○ | | ▲ | |
| | 体系3 | ● | | | ■ |
| コウキヤガラ | 体系1 | | ●*1 | | ■ |
| | 体系2 | ○ | | ▲ | |
| ナガエツルノゲイトウ | | ○ | ●*2 | | ■*3 |

*1 根が活着してから(移植7~10日以降)。雑草が多いほ場は代かき時に初期剤を使用。

*2 移植7日後以降。
ナガエツルノゲイトウ5cmまで

*3 発生が多い場合のみ

表2 難防除雑草の除草剤(一例)

| | ○初期剤 | ●初中期剤 | ▲中後期剤 | ■中後期剤(茎葉処理) |
|------------|-----------------|-------------------------------------|---------------------------------|------------------------|
| オモダカ | ・ユニハーブフロアブル | ・ジャスタ 1キロ粒剤 ・プライオリティ 1キロ粒剤 | ・レブラス 1キロ粒剤 ・アトリ 1キロ粒剤 | ・バサグラン液剤 ・ワイドアタックSC |
| コウキヤガラ | ・サキドリEW | ・ポデーガードプロ 1キロ粒剤 ・銀河 1キロ粒剤 | ・アトリ 1キロ粒剤 ・ゲパード 1キロ粒剤 | ・バサグラン液剤 |
| ナガエツルノゲイトウ | ・ピラクロン 1キロ粒剤 | ・ウィードコア 1キロ粒剤 | | ・ロイヤント液剤 |



写真1 ナガエツルノゲイトウ

農薬を使用する際は、使用前に必ずラベルを良くお読みいただき、表示のとおりにお使いください。

コラム① 農薬削減 ~最小限の薬量で最大の効果を得るために~

湛水散布を行う除草剤は水田の土壌表面に薬剤の層(処理層)を作ることによって長期の残効を発揮しています。除草剤の使用量を抑えるには、この処理層を長持ちさせることが重要です。処理層を長持ちさせるために以下の点に気をつけましょう

① 田面を均平にする

水面から田面が露出すると処理層を早く壊してしまいます。田面を均平にして田面の露出をなくしましょう。

② 丁寧な水管理を行う

処理層の形成のために、特に散布後数日間は水をあふれさせたり水を切らしたりしないようにしましょう。その後も、中干しまでは田面の露出を防ぐ水管理を行い、処理層を壊さないようにしましょう。

生育調査結果(6月1日現在)

*本年値の()内は平年値(過去10年)との差を示しています。

*CS値とは、カラースケールによる数値を表しています。(調査は葉色計(SPAD)を用いています。)

コシヒカリ

| 場所・移植日 | 年次 | 草丈(cm) | 莖数(本/株) | 莖数(本/m ²) | 葉齡 | 葉色(CS*値) |
|---------------|----|-----------|-----------|-----------------------|----------|----------|
| 東金市 5/3 移植 | 本年 | 35.3(98%) | 15.2(83%) | 274(83%) | 7.3(94%) | 5.0(98%) |
| | 前年 | 33.0 | 19.0 | 316 | 7.5 | 5.4 |

ふさこがね

| 場所・移植日 | 年次 | 草丈(cm) | 莖数(本/株) | 莖数(本/m ²) | 葉齡 | 葉色(CS*値) |
|---------------|----|-----------|----------|-----------------------|----------|----------|
| 山武市 5/3 移植 | 本年 | 25.6(87%) | 7.7(43%) | 139(47%) | 5.5(81%) | 4.5(91%) |
| | 前年 | 27.0 | 17.0 | 312 | 7.5 | 5.0 |

ふさおとめ

| 場所・移植日 | 年次 | 草丈(cm) | 莖数(本/株) | 莖数(本/m ²) | 葉齡 | 葉色(CS*値) |
|---------------|----|-----------|-----------|-----------------------|----------|----------|
| 山武市 5/3 移植 | 本年 | 23.3(77%) | 12.5(66%) | 198(55%) | 6.4(78%) | 4.7(94%) |
| | 前年 | 28.0 | 14.9 | 294 | 7.5 | 4.2 |

アキヒカリ

| 場所・移植日 | 年次 | 草丈(cm) | 莖数(本/株) | 莖数(本/m ²) | 葉齡 | 葉色(CS*値) |
|---------------|----|-----------|-----------|-----------------------|-----------|-----------|
| 山武市 5/1 移植 | 本年 | 35.6(85%) | 18.3(90%) | 318(109%) | 8.1(102%) | 5.2(100%) |
| | 前年 | 45.3 | 13.2 | 243.0 | 7.8 | 5.0 |

夢あおば

| 場所・移植日 | 年次 | 草丈(cm) | 莖数(本/株) | 莖数(本/m ²) | 葉齡 | 葉色(CS*値) |
|----------------|----|-----------|----------|-----------------------|-----------|----------|
| 山武市 5/18 移植 | 本年 | 22.4(83%) | 4.9(85%) | 88.7(87%) | 5.9(140%) | - |
| | 前年 | 22.6 | 5.9 | 107.0 | 4.1 | - |

農林総合研究センター 成東育成地 による生育調査結果(6月1日現在)

*調査は全て山武市で行われています。

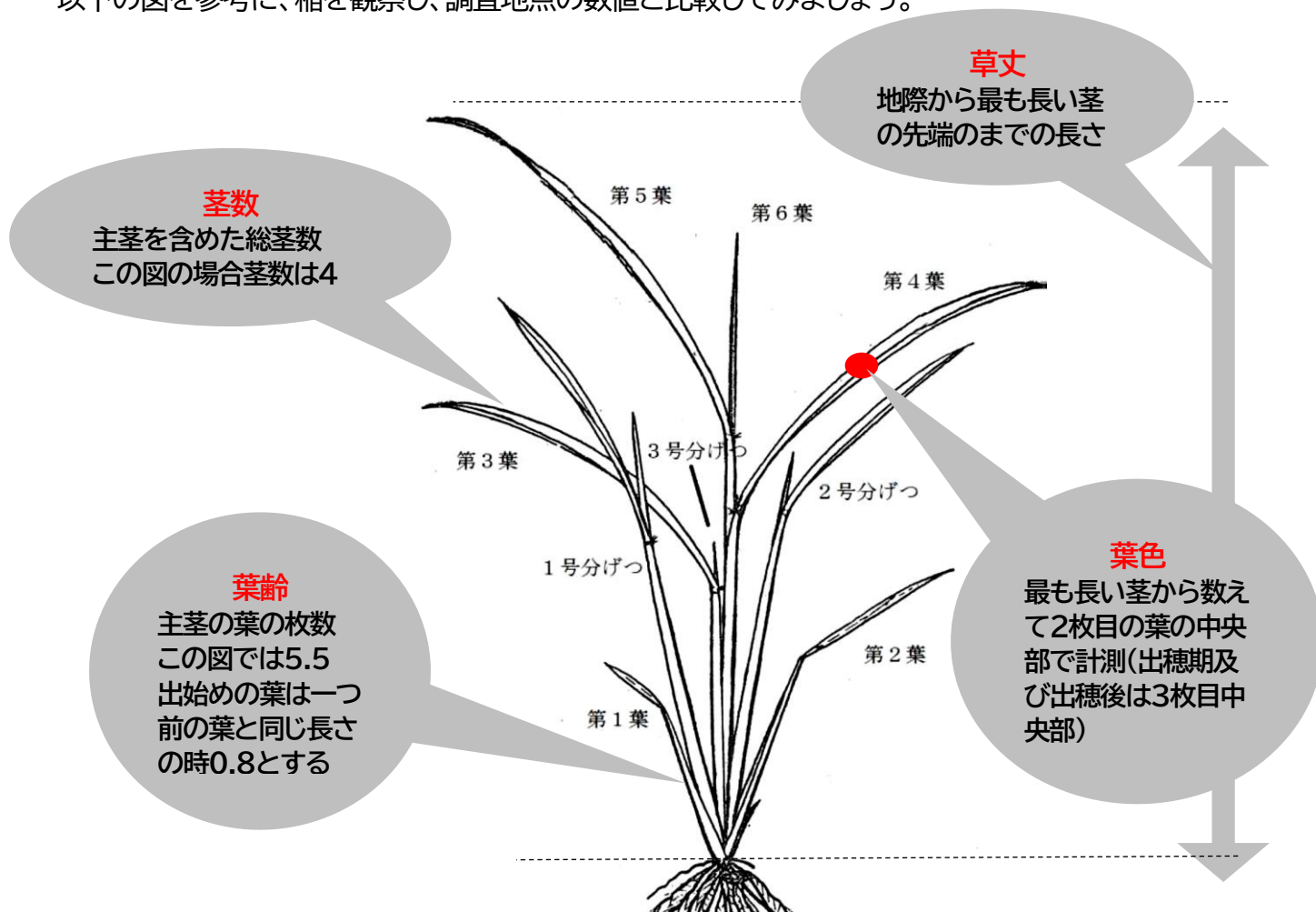
*本年値の()内は平年値(過去10年)との差を示しています。

*CS値とは、カラースケールによる数値を表しています。(調査は葉色計(SPAD)を用いています。)

| 品種 移植日 | 年次 | 草丈(cm) | 莖数(本/数) | 莖数(本/m ²) | 葉齢 | 葉色(CS)*値 |
|------------------|----|------------|------------|-----------------------|-----------|-----------|
| コシヒカリ 4/25 移植 | 本年 | 37.9(110%) | 30.6(139%) | 465(114%) | 8.3(105%) | 5.5(105%) |
| | 前年 | 35.9 | 21.6 | 400 | 8.1 | 5.3 |
| ふさこがね 4/25 移植 | 本年 | 31.6(100%) | 26.8(107%) | 335(73%) | 8.6(102%) | 6.0(106%) |
| | 前年 | 34.2 | 22.0 | 414 | 8.0 | 5.6 |
| ふさおとめ 4/25 移植 | 本年 | 34.4(106%) | 27.9(106%) | 354(73%) | 8.8(101%) | 5.7(104%) |
| | 前年 | 35.4 | 21.9 | 412 | 8.5 | 5.5 |
| 粒すけ 4/25 移植 | 本年 | 33.7(96%) | 28.2(128%) | 364(86%) | 8.6(99%) | 5.9(102%) |
| | 前年 | 34.4 | 20.0 | 362 | 8.5 | 5.8 |
| 粒すけ 5/15 移植 | 本年 | 23.8(98%) | 8.6(132%) | 135(107%) | 6.5(122%) | 4.14(98%) |
| | 前年 | 24.1 | 6.1 | 106 | 5.8 | 4.2 |

・データの見方(調査基準について)

以下の図を参考に、稲を観察し、調査地点の数値と比較してみましょう。



次回の発行は6月20日を予定しています。